

# イランという国

～メディアからは伝わらない話～

CODEは毎月「食と国際協力」という食を通じて、世界の国々の文化や暮らしを学ぶ場を作っています。第59回のテーマはイランです。

2003年12月26日、イランの南東部を震源地とするM6.7の大きな地震が発生し、約2万7000人の方が犠牲になりました。

CODEは、幼稚園支援、「しあわせ運べるように」を使った防災教育、コミュニティーセンター建設、耐震実験などの支援を行ってきました。

イランの子どもたちが防災教育「しあわせ運べるように」を歌う

まけないぞうが  
KOBEからイランへ



今回の語り手は、これまでも食と国際協力でお話しいただいている、奥さん・ナヒドさん夫妻です。奥さんは、2001年に初めてイランを訪れました。その直後にアメリカ同時多発テロが発生。その後、著書「例えばイランという国—8人のイランの人々との出会い—」を出されています。

その後2003年に発生した地震の直後、CODEは奥さんと連携させていただき、イランの支援を行いました。2020年初めより、アメリカによるイラン革命防衛隊司令官の殺害を機にイランとアメリカは緊張状態にあります。奥さん夫妻には普通の市民の立場から見えるイランの現状をお話しいたします。

メディアでは知ることのできないお話が聞けると思っています。どうぞご参加ください。

～今回の食～  
ルビヤ・ポロー  
(いんげん豆と  
トマトペーストの  
炊き込みご飯)

【日時】 2020年3月19日(木) 午後6:30～8:00  
【場所】 CODE事務局(「新開地駅」より徒歩5分)  
【語り手】 奥 圭三さん、ナヒド・ミールザハリさん  
【参加費】 食事代800円  
当日参加も可能ですが、人数把握のため、できれば事前にCODE事務局(下記)宛てにお申込みください。



奥さんとナヒドさん

## CODE海外災害援助市民センター

〒652-0801 兵庫県神戸市兵庫区中道通2-1-10

TEL: 078-578-7744 FAX: 078-574-0701

E-mail: [info@code-jp.org](mailto:info@code-jp.org) HP: <http://www.code-jp.org/>

Facebook: <https://www.facebook.com/NGO.CODE>



CODE  
Facebook: CODE